

溶接の安全に関するご注意

 警告	・溶接者と周囲の人々を重大な人身事故から守るため、必ず次のことを守ってください。
---	--

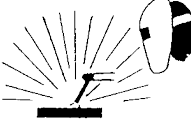
- ・溶接材料のご使用にあたっては、以下の注意事項を必ず守ってください。
ご使用前に必ずSDS（安全データシート）をご確認ください。
(<https://www.jkw.co.jp/sds-prtr-2023/#01>)
- ・溶接関連機器のご使用にあたっては、取扱説明書の注意事項を必ず守ってください。

 警告	・感電によって死に至ることがあります。
---	---

- ・通電部には触れてはいけません。（溶接棒ホルダにはさまれた被覆アーク溶接棒や溶接中のワイヤは、通電状態になっています。）
- ・乾燥した絶縁手袋を使用し、破れたり濡れた手袋は、使用しないでください。
- ・狭い場所または高所にて溶接する時は、電撃防止装置を使用してください。
なお、高所にて溶接する時は、命綱を使用してください。
- ・溶接機ご使用の前には、溶接機の取扱説明書をよく読んで注意事項を守ってください。ケースやカバーを取り外したまま使用しないでください。
また、適切な容量のケーブルを使用し、保守点検を行って損傷したケーブルは、修理または交換してください。

 注意 	・溶接の際発生するヒュームとガスによって、健康を損なうおそれがあります。 ・狭い場所での溶接作業は、酸素の欠乏により、窒息する危険性があります。
--	--

- ・高濃度のヒュームやガスを直接吸入しないように、発生元の上部から頭部を避けてください。
- ・ヒュームや有害なガスの吸引による中毒や健康障害および酸欠による窒息を防止するため、局所排気設備を使用するか、呼吸用保護具を着用してください。
- ・屋内の溶接では、全体換気を実施してください。特に狭い場所での溶接では、必ず十分な換気をするか、呼吸用保護具を着用するとともに、訓練された監視員のもとで作業してください。
- ・脱脂、洗浄、噴霧、塗装などの作業の近くでは、溶接を行わないでください。これらの作業の近くで溶接すると、有害なガスを発生することがあります。
- ・めっき鋼板、塗装鋼板などの溶接では、特に注意して十分な換気をするか、呼吸用保護具を使用してください。
- ・溶接用フラックスを取扱う場合にも、粉じんが発生しますので呼吸用保護具、保護めがねおよびかわ製保護手袋を着用してください。

 注意 	・アーク光は、目や皮膚に有害です。
--	---

- ・溶接作業や溶接の監視を行う際は、十分なしゃ光度を有するしゃ光保護具を着用してください。フィルタレンズおよびフィルタプレートは、溶接作業に合ったしゃ光度番号を、JIS T 8141の使用基準を参考にして選定してください。
- ・体をアーク光に露出しないように、溶接用かわ製保護手袋、長袖の服、脚カバー、かわ前掛けなどの適切な保護具を着用してください。
- ・必要に応じて、溶接作業場所の周囲に溶接用しゃ光カーテンなどを設置して、アーク光が他の人々の目に入らないようにしてください。

	注 意 ・火災や爆発を引き起こす恐れがあります。
---	--

- ・引火性の高い可燃物の近くでは、絶対に溶接しないでください。
- ・飛散するスパッタが可燃物に当たらないよう、可燃物を取り除いてください。取り除けない場合は、不燃性カバーなどで可燃物を覆ってください。
- ・内部に可燃物の入った容器またはパイプや、密閉された容器またはパイプは溶接しないでください。
- ・溶接直後の熱い溶接物を可燃物に近づけないでください。
- ・天井、床、壁などの溶接では、隠れた側にある可燃物を取り除いてください。
- ・溶接用トーチ先端以外の溶接ワイヤが母材側電流回路に接触した状態で溶接しないでください。
- ・ケーブルの接続部は、確実に締め付けて絶縁してください。また、母材側ケーブルは、できるだけ溶接する箇所の近くに接続してください。
- ・溶接作業場の近くに消火器を設置して、万一の場合に備えてください。

	注 意 ・スパッタやスラグの飛散によって、目を痛めたり火傷をすることがあります。 ・溶接によって生じた高熱で火傷をすることがあります。
--	--

- ・保護めがね、溶接用かわ製保護手袋、長袖の服、脚カバー、かわ前掛けなどの保護具を着用してください。
- ・溶接部は、冷却するまで手を触れないようにしてください。

	注 意 ・ワイヤや溶加棒の先端で目や顔などの身体に刺し傷を生じる恐れがあります。
---	--

- ・ワイヤの止端部を外す際、ワイヤ先端部から手を離さないでください。
- ・ワイヤの送給状態を見る時など、溶接トーチを顔に向けないようにしてください。
- ・ワイヤや溶加棒を取扱う際には、かわ製手袋や保護めがねを着用してください。

	注 意 ・溶接材料の転倒、落下によってけがをする恐れがあります。
---	--

- ・溶接材料の運搬および取扱いに際して、安全靴を着用するとともに、身体の上に落下させぬよう注意してください。また、腰痛を起こさないよう持ち運びの姿勢に注意してください。
- ・パールパック入りワイヤについては、容器に表示してある取扱い上の注意をよく読んでから作業してください。
- ・溶接材料の保管、運搬時には、転倒や荷崩れしないように積載してください。

	注 意 ・溶接材料が使用される地域によって、特有の警告表示が必要になる場合があります。
---	---

- ・購入された溶接材料を他国などで使用される際は、当該地域の法規制にご注意ください。